

「平和の証」

沖縄県立浦添商業高等学校 1年生 上間^{うえま} ゆめ

「Could you tell me the way to the war spot?」

道を歩いている私に、地図を広げてある韓国の女の方が聞いてきました。私はとっさに、かたことの英語で、ひめゆりの塔を紹介しました。

皆さんなら、戦争と聞いて何を思い浮かべますか。怖い・二度と起してはならない事、その他にも沢山の意見があると思います。しかし、二度と起してはならない悲劇をどのように世界に広めたらいいのでしょうか。

今年、戦後七十年を向える私達の住む沖縄は日本で唯一地上戦が起きてしまった場所、今現在も平和祈念公園をはじめ、様々な戦争跡地が大切に残されています。私は、沖縄に観光をしに訪れてくれる方々に、過去の沖縄を見てもらい、平和に対する気持ちを改めて思い出して欲しいと思っています。

私には唯一の戦争体験者で一番身近に居たのが曾祖母でした。

「ねえ、おっきいおばあ、戦争ってどんな風だったの。」一度だけ聞いてみたこの言葉に、曾祖母は「恐しすぎて、言葉で表せないさあ。むる人の海で、思い出したくない。」とだけ話してくれました。その時私は、いつも当たり前のように泳ぎに行っていたキレイな海や、日々過ぎていく日常は、当たり前なんかじゃないという事に気づかされました。今ここにある全ての物事は、曾祖母達が守り抜いてきたもの。私はそれを、観光を通して、世界に発信していきたいと思っています。

今現在、私達の住む沖縄は海がキレイで観光地として有名です。だからこそ、未来を担っていく私達が沖縄のすばらしさと共に、平和について考えてもらう機会を作る大切なかけ橋にならなければなりません。

もっと沖縄を知ってもらいたい。だからこそ、過去の悲さんな出来事もしっかりと受け止め、伝える事が大切だと思います。自然が豊かで見渡す限り広がる青い海、それは私達の祖先が代々守りぬいてきた、ここ沖縄という平和の聖地だと思います。守りぬいてきたから、今の沖縄がある。そう、私達はこの平和の聖地沖縄を、観光という特性を活かしどんどん世界へ発信していく力があると思います。

英語が苦手、人と接するのは得意じゃない。沢山の人が居る中で一人でも多くの方に沖縄の素晴らしさを伝えてみたいと思いませんか。私達の祖先が残してくれた平和への証、その証が守られてるからこそ、観光地として有名なんだと私は思います。つまり、平和と観光は結びついているという事です。

次は、私達が社会を担っていく重要な存在になります。あなたなら、どうやって観光客や外国人の方々に、沖縄の事を伝えますか。

もちろん、十人十色で伝える事や伝えたい事は違うかもしれませんが、でも、皆共通している思いはあります。それは、平和が一番良いという事、そして沖縄をもっと世界に広めたいという事です。

沢山の観光客でにぎわう沖縄を、私はとても誇りに思います。だから、ちょうど戦後七十年目にあたるとても大切な節目の時期、しっかりと今の現状に耳を傾け、身近に居る家族や友人・先生と話し合う事が今の私に必要な事だと思います。また、身近な存在だけではなく、まったく知らない外国人の方々と話をし、自分だけの考えだけではなく、外国側から見た沖縄の過去と現状を知る機会をもっと観光業に増やして欲しいと思います。

平和の聖地沖縄、未来を造るのは私達。だからこそ、観光に目を向け一緒に世界へ発信していきませんか。